

令和4年度 東海高等学校定時制通信制体育大会 バドミントン競技  
監督会議資料・連絡事項

1 受付確認

- (1) 団体戦選手変更確認 (2) 個人戦選手棄権確認

2 競技・運営方法について (大会要項通り)

(1) スコア

- ・ラリーポイント制、21ポイント3ゲームマッチ (2ゲーム先取)
- ・スコアが20点オールになった場合には、その後最初に2点リードした方がそのゲームでの勝者となる。
- ・スコアが29点オールになった場合には、30点目を得点した方がそのゲームの勝者となる。

(2) エンドの交代

- ・第1ゲームを終了したとき。
- ・第2ゲームを終了したとき (第3ゲームを行う場合)
- ・第3ゲームでどちらかが最初に11点に達したとき。

(3) インターバル

- ・すべてのゲームの中に、一方のスコアが11点になったとき、60秒を超えないインターバルを認める。
- ・第1ゲームと第2ゲームの間、第2ゲームと第3ゲームの間に120秒を超えないインターバルを認める。

3 試合について

- (1) 団体戦 ①複、単1、単2の順で行う。(ただし、競技の進行により並行試合もある。)  
②2試合先取で勝利、ただし、1回戦は勝敗が決まっても3試合行う。  
なお、その場合選手変更を認める。
- (2) 個人戦 ①単、複ともに21ポイント3ゲームマッチ (2ゲーム先取)  
②3位決定戦を行わない。連続試合になる場合は15分、間隔を空ける。

4 その他・連絡事項 (審判・線審・得点表示・ベンチ・コーチ席等について)

- (1) 試合開始前の練習は2分間とする。
- (2) 審判について
- ・主審は本部補助役員が行う。
  - ・団体戦の線審については各チームから1名補助を出し、相互審で行う。
  - ・個人戦の線審については初戦のみ本部から指名し、次の試合から前の試合の敗者チームにて行う。
  - ・得点表示は線審が行う。
- (3) 団体戦オーダー用紙は、監督会議終了後、速やかに提出すること。オーダー用紙は自校控え、本部控え、相手校用の3部すべてに記入すること。

- (4) 試合用シャトルは各校・選手が相互に持ち寄りとする。(水鳥公認球3番)
- (5) ベンチ席(6席)コーチ席(2席)を設ける。入れるのは選手名簿に記載された監督・助監督・コーチ・出場選手(団体登録選手)とする。コーチ席はエンドを交代する際には、自校のプレイヤーサイドに移動する。試合終了後、ベンチ席・コーチ席は使用したチームが消毒を行う。(本部にアルコールシートを準備しておく)
- (7) 応援について  
拍手のみの応援とする。
- (8) 入場制限について
- ・原則として体育館建物内には、選手、監督、助監督、コーチ、引率者、役員、補助員(審判等)のみ入場可とする。
  - ・会場入場予定者は新型コロナウイルス感染症拡大防止対策に対応した大会の開催に関するガイドライン【改訂版】を遵守し、「体調管理チェックシート①」を本部に提出すること。
  - \* 「体調管理チェックシート①」では大会2週間以内となっているが、陽性者・濃厚接触者の待機期間は緩和されている。出場可否については、各県教育委員会による陽性者・濃厚接触者の待機期間に照らし、各学校で判断をすること。
- (9) 会場使用について
- ・アリーナ、観客席は土足厳禁。靴を入れる袋を持参すること。(ロッカー使用不可)
  - ・座席は1つおきで使用する。
  - ・食事をとる場合は観客席で黙食すること。